



安心・活力・改革継続予算

鹿兒島県知事 伊藤 祐一郎

〈はじめに〉

平成二十一年度当初予算は、平成二十年
度三月補正予算と連携し、雇用・経済対策
について積極的に取り組むとともに、「持
続可能性」「産業おこし」「鹿兒島おこし」
の「三つの挑戦」と「環境」「食料」「医療・
福祉」の「三つの課題」への重点的な予算
配分を行いながら、「安心・活力・改革継
続予算」として編成を行い、前年度当初予
算に対して八年ぶりに〇・一%の増としつ
つ、「生涯を通じて安心して暮らせる社会
づくり」など十本の柱に基づいて、戦略的
な施策の展開に努めることとしています。

〔オープンな県政の展開と持続可能な行財政構造の構築〕
自動車税の徴収率と納税者の利便性の向
上を図るため、短期集中的に電話による納
税催促を行うほか、クレジットカード収納の導入
に向けた環境を整備してまいります。

〔生涯を通じて安心して暮らせる社会づくり〕

救急搬送体制を強化するため、消防・防
災ヘリコプターに医師等が搭乗し、現場へ
出動するシステムを整備してまいります。

少子化対策として、認可保育所等に第三
子以降の子どもを入所させる多子世帯の保
育料等を助成します。また、乳幼児医療費
助成制度について、対象年齢の引上げ及び
所得制限を導入することとしております。

身障者用駐車場の適正利用を図るパーキ
ングパーミット制度の導入や発達障害児、知
的障害児等に対する外来治療・療育等を行
う総合的な療育センターを整備いたします。

〔安心・安全な社会の形成と県土づくり〕

新型インフルエンザ対策として、抗イン
フルエンザウイルス薬（タミフル等）の追
加備蓄及び協力医療機関等の人工呼吸器や
感染防護具の整備を促進してまいります。

〈人と自然が調和する地球にやさしい社会づくり〉

屋久島において、CO₂の発生が抑制された
先進的な地域づくりを促進するため、専門
家によるCO₂フリーの島づくり研究会の設置
や電気自動車の公用車への導入等を行うほ
か、温暖化対策推進のための条例の制定な
ど地球温暖化防止に係る新たな制度・施策
を検討してまいります。

公共関係による産業廃棄物管理型最終処
分場の基本設計を行うとともに、啓発活動
や周辺地域の環境を整備してまいります。

〔新時代に対応した戦略的な産業おこし〕

畑作農業経営の体質強化のため、国営か
んがい排水と連携し、農業用排水施設
区画整理等の基盤整備を進めてまいります。

上海の流通業者などと人的ネットワーク
を有し、中国ビジネスについての豊富な経
験を持った「上海マーケット開発プロデュー
サー」（仮称）の設置に向けた検討を進める
とともに、上海の輸入業者を招へいた商
談会を開催することとしております。

県内の中小企業などが製造した製品や特
産品、農林水産物などを一堂に集めた「か
ごしま産業おこしフェア2009」を開催
し、本県の商工業や特産品をPRすると
ともに、商談会や就職相談会などを行います。

ポスト「篤姫」対策として、「島津斉彬生
誕二百年」や、「肥薩線全線開通百周年」等
の周年行事を契機とした九州新幹線全線開
業プレキャンペーンを行うほか、多様な
ツーリズムメニューの集積、受入体制の整
備など、民間と行政が一体となって取り組
んでまいります。

〔誰もがいきいきと活躍できる雇用環境づくり〕

雇用保険や訓練手当の支給がない非正規
労働者などの求職者に対し、訓練受講期間
中の生活の安定に資するよう、新たに訓練

助成金を支給します。また、離職者等を農
業法人等へ円滑に就業させるため、生活面
にも配慮しながら、有効な事前研修の機会
を設けてまいります。

〔快適で活力ある生活空間の形成〕

錦江湾を横断する交通ネットワークの整
備について、詳細な可能性調査を実施して
まいります。

九州新幹線鹿兒島ルートの中線開業に
合わせて、平成二十三年春に開催する「第
二十八回全国都市緑化かごしまフェア」の
開催準備を進めてまいります。

鹿兒島市が行う甲突川周辺のまちづくり
と連携し、甲突川水際の散策路等の整備を
進めてまいります。

〔農山漁村の活性化と奄美・離島の振興〕

維持・存続が危ぶまれる集落の課題解決
のため、市町村の取組みを促進するととも
に、モデル地域を設定し、集落の抱える課
題の把握及び解決に向けた支援を行ってま
いります。

〔共生・協働による温もりのある地域社会づくり〕

協働の担い手となるNPOや自治会など
を支援するため、NPO等が行う事業への助
成、実践講座、ネットワークの構築支援、地
域リーダーの養成などを行ってまいります。

〔教育の再生と文化・スポーツの振興〕

「九州・山口の近代化産業遺産群」の世
界遺産登録に向け、関係県・市一体となっ
た取組みを展開してまいります。

鹿兒島ふれあいスポーツランドについ
て、「第二十八回全国都市緑化かごしまフェア」
のサブ会場として敷地造成等を行うと
ともに、フェア終了後は、サッカー・ラゲ
ビーの九州大会や県大会の試合ができるグ
レードの高い施設を整備することとしてお
ります。